

提 案 書 要 約

- 1事業名：植物残渣を資源として可燃焼却せずに堆肥化し次の資源を生み出す循環の取り組み
- 2応募者名：Studio SENSES
- 3内容：植物残渣を可燃焼却せずに堆肥化し土壌改善を実施する。その土壌から次の資源と経済効果を生み出す循環の仕組みを構築する。

【本事業の目的と取組の内容】

サーキュラーエコノミーの実現に向けての具体的な取り組みです。

植物残渣を地球の資源と捉え、可燃焼却せずに大地に戻し堆肥化や土壌改良にする事で可燃廃棄物を削減し、焼却炉の負担を軽減、温室効果ガスの削減に貢献するものと考えます。

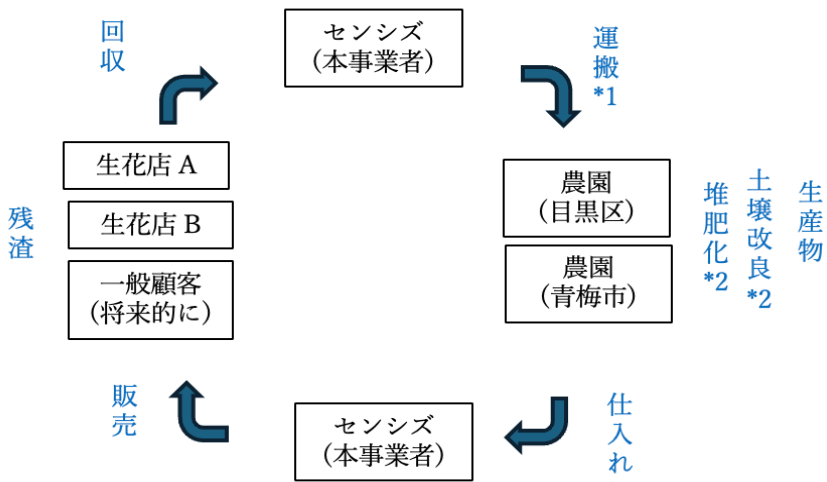
また、堆肥化する事で土壌の回復と再生に寄与し、その大地からの新たな資源や原材料の創出を期待出来ると考えています。

脱炭素と資源の循環を行い、新たな原材料を生み出し経済効果を見込める、新たなスタンダードとなり得る、モデル事業の実装を目指したいと考えています。

【期待される効果】

- ・可燃廃棄物を削減し、焼却炉の負担軽減、温室効果ガスの削減に貢献出来る。
- ・環境保全、土壌の回復と再生に寄与。
- ・新たな資源・原材料の創出を期待出来、その販売による経済効果が見込める。
- ・耕作放棄地の本事案による有効活用が可能、放棄地の土壌再生が期待出来る。
- ・環境保全を行いながら、資源と経済の循環を生み出す事が期待出来る。

【植物残渣回収の実施体制】



- *1 自社での運搬・回収、または業者委託
*2 土壌診断業者、堆肥化専門家コンサルティング
*3 堆肥化の状況による

【提携業者 (予定)】

- ・コンポスト設置農園
安部植木(青梅市)、八雲のはたけ(目黒区)
- ・生花店
Trump Flower(世田谷区)、yohaku(世田谷区)、他
- ・土壌診断
株式会社UPDATER (みんな大地)
- ・コンポスト専門家(アドバイザー)
NPO法人コンポスト東京

【イメージ図 (一例)】



植物残渣



コンポスト

【実施スケジュール(予定)】

2025年-2026年	スケジュール	実施内容
8月	交付決定後	・農園、運搬業者と契約 ・コンポスト場所の確保
	中旬	・土壌・堆肥専門家と契約 ・事業補助事務員採用
	下旬	・土壌診断、植物残渣の搬入開始 ・植物残渣を週1回～2回各農園へ運搬 (以降定期実行)
	中旬	・デザイン会社へパンフレット制作費用見積り取得
	下旬	・専門家のサポート ・堆肥化の状況を見ながら搬入量や方法を調整
10月	上旬	・デザイン会社へパンフレット制作発注
	下旬	・専門家のサポート ・堆肥化の状況を見ながら搬入量や方法を調整
11月	中旬	・農園で収穫した花や野菜の販売(堆肥化進捗により判断)
	下旬	・専門家のサポート ・堆肥化の状況を見ながら搬入量や方法を調整
1月	上旬	・土壌診断
2月	上旬	・土・堆肥の販売(堆肥化進捗によって判断)
	中旬	・パンフレット制作完了
	下旬	・広告宣伝